



子供と一緒に参加する研修会場 ～サテライト会場～

ライフサポート部 寺尾詩子

会員ライフサポート部
活動報告
職場環境を考える

第55報

今回は、託児室を設置しない代わりに、子供連れで研修を受けられる会場の設置にトライしました。

これは、やってみたら「好評だったよ」と教えていただいたこと、研修会会場の国際医療福祉大学の先生方が快く引き受けてくださったことで実現することができました。

研修会は、平成27年12月13日（日）13:00～16:00に開催された生涯学習部の企画による「神経理学療法領域講習会 ～脳画像の読影と理学療法への応用～」です。講師は国際医療福祉大学の太田先生で、会場も小田原駅近くに立地する国際医療福祉大学でした。

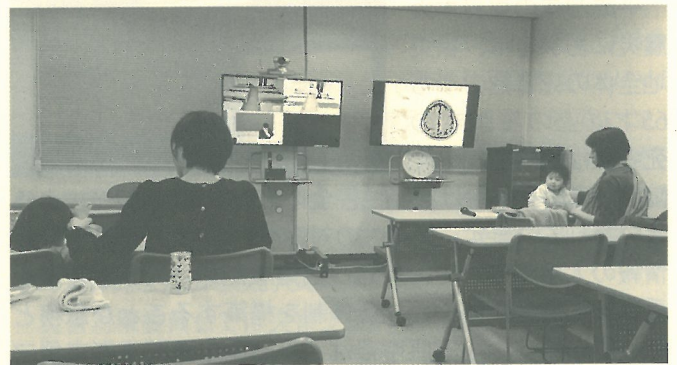
サテライト会場の利用者は2家族で、7か月と3歳の2人の女の子とそのお母さんたちの参加となりました。

本会場とサテライト会場は別の階でしたが、サテライト会場でも、スライド映像がモニターに大きく映され非常に見やすく、もう一つのモニターは四分割されて黒板とサテライト会場全体の映像が映っていました。サテライト会場の様子も本会場のモニターに映っているとのことでした。音声は明瞭でしたが、音量が大きすぎるかも心配でしたが、逆に周囲の様子を気にせず、集中して講義を聞いたり、子供の様子を見たり、席を立ってあやしたりなど、周囲に迷惑をかけずに行えていると感じました。私はスタッフとしてサテライト会場にいました。講義はわかりやすく、子供たちもお母さんたちも落ち着いていたので、割と集中して

受講できてしまいました。

利用者からは、「これまで近くの研修で子供と参加できる機会はなかったので、初めて研修に参加できた。」「冬場は感染症も流行しやすいので、子供同士の接触が少ないサテライトの方がよいと思い参加した。」「育休中は完全に理学療法の世界から離れてしまうので、少しでも講習会などで理学療法士の世界に触れておきたかった。」と普段は参加できない環境の方々の参加につながることができ、企画してよかったです。完全に集中して勉強するという訳にはいかず、講習会は3時間に及び、子供には負担が大きい面もあります。一方で、会場の環境さえあれば、安価で設置できるので、今後も、継続して企画していきたいと思っています。

皆様から、サテライト会場設置ができそうな会場がありましたら、情報いただければありがたいです。情報お待ちしております。（☒lifesupport@pt-kanagawa.or.jp）



■ アンケート調査結果 ～第1報～ ■

昨年の夏に、本会会員の所属する施設毎に「産休・育休取得中の人員確保に関する調査」を実施しました。339施設からご回答いただき、本当にご協力ありがとうございました。

6年前にも施設単位で「女性の雇用に関する意識調査」を行いました。その時より県士会会員が所属する施設数は増え、育児適齢期の女性理学療法士も着実に増えています。施設分類に関係なく育児と仕事を両立するための制度の利用実績も進んでいます。しかし、就業環境に関しては両立がしやすい施設整備や人員確保ができていると答える施設は少なく、対応に苦慮している施設は多いことには変わりありませんでした。育児と仕事を両立していくことを受け入れていく意識は高まってきているものの、現場の負担感が変わっておらず、両立中の人にとっても、そうでない人にとってもつらいことです。直接人員確保につながる対策は難しい状況ではありますが、この現状について声を挙げ続けていくこと、各施設での対策や考え方を少しずつでも情報収集してまとめられればと思っています。